

診療科目

泌尿器科

専門医研修指導医

責任者：内藤誠二 教授
 実務者：横溝 晃 准教授
 立神勝則 講師、猪口淳一 講師
 清島圭二郎 助教、高橋良輔 助教
 塩田真己 助教、武内在雄 助教



25年度 後期専門研修医 7名

取得可能な認定医・専門医

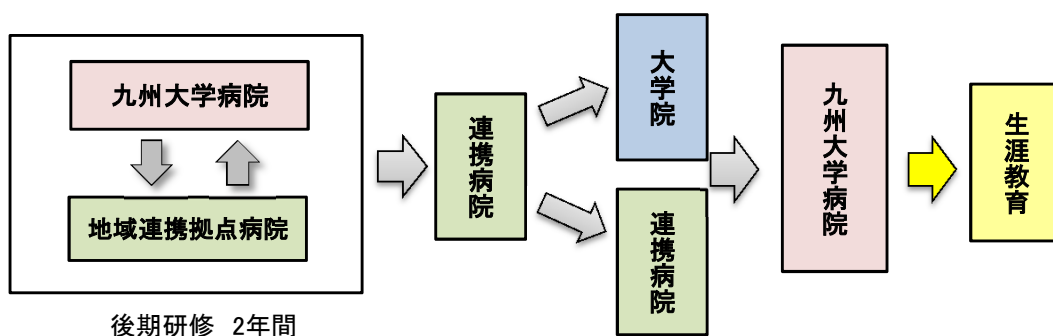
日本泌尿器科学会専門医・指導医、医学博士
 腹腔鏡技術認定医、がん治療認定医

専門医研修システム

3 コースを開設しており、各コース8～10年間の研修です。

後期研修2年間は得意分野を持ち、幅広い臨床を行っている地域連携拠点病院あるいは九州大学病院にて計2年間の研修を行い、その後地域連携病院にて研修を行う。各コース終了前に、再度九州大学病院での研修を行い研究・臨床試験等に携わり知識を得た後、より専門性の高い施設で臨床を行う。各連携施設での研修は1年毎にローテートを行い、原則的に同一施設での研修は行わない。

- ◆ 泌尿器科研究医師育成コース（10年）
九州大学病院での共同研究や治験等に積極的に参加し、泌尿器疾患の基礎学問的問題を見出した後に、大学院へ進学し基礎的なアプローチで研修を行う。
- ◆ 泌尿器科臨床研究医師育成コース（8年）
専門性の高い病院で研修を行い、より臨床性の高いテーマを見出した後に、臨床研究室で学位を取得する。
- ◆ 臨床指導医育成コース（8年）
泌尿器がんや内視鏡など臨床での専門性に重点を置き、医師を育成する。



・豊富な関連病院

九州医療センター、福岡赤十字病院、九州がんセンター、原三信病院、佐賀県医療センター好生館、福岡市立こども病院、県立宮崎病院、大分県立病院、九州中央病院、北九州市立医療センター、浜の町病院、済生会八幡総合病院、九州厚生年金病院、製鉄記念八幡病院、広島赤十字病院など。

・多数の手術症例 年間475件（2013年 九大病院泌尿器科） の手術を行っています。

・多彩な疾患と最先端の治療

外科的治療として副腎腫瘍、腎癌などに対して腹腔鏡手術を積極的に行っています。限局性前立腺癌に対しては、ロボット支援手術、前立腺密封小線源永久挿入法など様々な最先端の治療を行っています。また、尿路結石にはレーザーを用いた内視鏡的治療や体外衝撃波結石破碎術を行っています。一方で、腎癌に対する分子標的薬、尿路上皮癌に対する全身化学療法、前立腺癌に対する内分泌療法、排尿障害に対する薬物療法など内科的治療も幅広く行っているのが当科の特徴です。



国際学会を含めて数々の学会を主催しています。



後期研修医の先生も多くの手術症例に参加しています。

週3回科内カンファレンスを行っています。



連絡先

電話： 092-642-5603 F A X： 092-642-5618
E-mail： hinyoki@uro.med.kyushu-u.ac.jp
担当者： 医局長 猪口 淳一
診療科HP： <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/uro/>